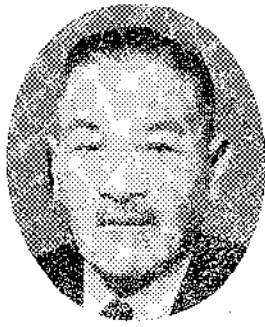


年頭の所感



重大使命を遂行

生産技術振興会会長 根 岸 信

我々独立後最初の新春を迎えるはあたり、本年こそ日本再建にとって実に重大なる年であることを特に強調せねばならぬ。第一に昨年講和発効までの占領軍の管理下において再建復興のためになされた諸方策はいずれも応急的処置にすぎず、真に国情に合致し国民性に基いた適切な基本方策が実現されたとは決して考えられず、又此の間国民と政府との切実な願望も方策も共に必ずしもそのまま実行されるとは限らず、国家の運営に任じ国家の指導者たるべき政府が将来に対するいかなる施政方針を声明しても、国民はそれが現実に発令され実施に移されるまでは遺憾ながら信ずることができなかつた。従つて産業人も将来の見透りに立脚し確信を以て事業経営の基本方針を樹てることができず残念ながらその日暮しの経営を続けざるを得なかつた。しかるに昨四月講和発効と同時にかかる極端から解放され独立の第一歩を踏み出してからここに半歳以上を経過し、諸外国の我々独立に対する態度もほゞ窺知することを得た今日、真に自信のある再建基本案及びその具体化策が確立できる年であり又是非共やらねばならぬ年である。

国家再建にあつて先づ何よりも自給自足出来ない我々の現実を直視せねばならぬ。乏しい資源のこの狭隘な国土に極めて過大な人口を抱えて産業人が徒らに同業者対象の国内競争にのみ狂奔していたのでは我々経済は自滅してしまふ。我々は今までの考えを一擲し眼界を拡張、世界経済の只中において純経済的実力を以て地歩を築いてゆくべき高い識見と廣い気宇とを以て強力な輸出産業を育成してゆかねばならぬ。このために工業立国の趣意に徹し、高度の物質文明を誇る欧米諸国に拮抗して生産技術の振興を奨らねばならぬことは今更論を俟たないところである。政府においても、一日も早く基礎産業確立のためにできる限り補助育成の手段を盡すべきであり、今日の如く基礎産業、公益事業、及び其の他各種事業にストライキが頻発する状態は国民が敗戦という事実を忘れて無思慮に戦勝国に倣うもので国家再建にとって誠に遺憾であり危険である。政府が国内の産業平和を確保できず、ストライキの拾収に在る日を重ねているが如きは怠慢の譴りを免れない。一方民間に於ても能率の向上改善を第一業に労使共に協和する様に深省工夫すべきである。かくの如き官民一体の努力なくして国家の真の再建は望み得ない。

又国家の再建充実は学術研究の成果を無視しては成り立たない。実に学問研究の成果は吾々国民の財宝であり、大学及びその他学術研究諸機関の整備充実は国民全体の責任である。しかして一国の科学研究の規模は産業社会の経済力に依存し、その探究成果は生産技術を媒介として国民生活に結びつき国民の活動が結集して、一国の物質文明全体を構築してゆくものである限り、科学的深究の世界に於ても決してそれ自身孤立したものではあり得ない。かかる観点に立つて吾々は生産技術振興協会の今後の新しい足どりに対して検討を加えねばならぬ。

第一に吾々は大学と民間とを直結させる協会の事業活動により最も有効に生産技術の振興を計り、高度の科学的研究成果を廣く国民再建の背骨を強化してゆかねばならぬ。

更に吾々は大学と民間との結合により、国家最高の教育機関たる大学に結集されている現代の良識と良心、高度の知性に社会的実力を興えて、社会に対する大きな発言力を獲得せねばならぬ。大学と民間産業人とが協会の活動を通じて、一つの社会的発言力を獲得して、政府に迫り大学の充実と研究設備の拡張とを促進せねばならぬ。かく大学の整備充実が国民の責任であることを強調すると同時に、大学との結合から生れる高度の知性の浸透を通して、衝動的とも言うべき産業社会の生産力を国家再建のために最も健全な方向に導かねばならぬ。現在の如く物質文明就中科学の目覚ましい発達、反面戦争の予感が世界の人々の心を暗く仄している時、当生産技術振興協会の果たすべき責務は益々重きを加えつつあり、吾々実際に会の事業に従うものは斯くの如き協会存立の新たな意義を深省し、その重大なる使命達成の決意と自覚をもつて新しい足どりを開始せねばならぬ。

国家再建にとって実に重大なる意義を有する年を迎え、吾々は全力を挙げて協会設立の趣旨の貫徹に努め、廣く世界各層に呼びかけて志を同じうする人々と手をとり合い、大学、民間、政府三者一体となつて国家再建諸方策の実現に邁進せねばならぬ。